

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## BladeSymphony BS500

### 使用上のご注意

このたびは、日立統合サービスプラットフォーム BladeSymphony BS500 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本シートは、BS520A A1 サーバブレード、BS520H A1/B1 サーバブレード、BS540A A1/B1 サーバブレード、BS520H A2/B2 サーバブレード、BS520H B3 サーバブレード、BS520H B4 サーバブレード、BS520X B1 サーバブレード、および BS520X B2 サーバブレードに関するご使用上の注意事項を記載しております。

### 対象機能

対象機能は下記です。

- CPU 障害時縮退機能
- CPU の使用温度
- VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限
- SMP 構成で VMware vSphere® ESXi™を使用する際の制限
- SMP 構成の VMware vSphere® ESXi™にて iSCSI 接続を使用する際の制限
- Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 で 10Gb 2 ポートオンボード CNA、Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードまたは Emulex 8Gb/16Gb 2 ポート FC 拡張カードを使用する際の制限
- VMware vSphere® ESXi™にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限
- Microsoft® Windows Server® 2012/2012 R2 にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限
- HVM を使用する際の制限
- Microsoft® Windows Server® 2016 を使用する際の制限
- 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードのファームウェアの制限
- Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カードのファームウェアの制限
- EFI 設定の変更手順
- EFI 設定(Processors)の変更手順
- EFI 設定(SAS)の変更手順

### 対象モデル

対象モデルは下記です。

- BS520A A1 サーバブレード
- BS520H A1/B1 サーバブレード
- BS540A A1/B1 サーバブレード
- BS520H A2/B2 サーバブレード
- BS520H B3 サーバブレード
- BS520H B4 サーバブレード
- BS520X B1 サーバブレード
- BS520X B2 サーバブレード

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## 注意事項

### ■ CPU の障害時縮退機能

CPU の障害時縮退機能を使用すると、ネットワークが見えなくなるなどの事象が発生する可能性がある為、ファームウェアにより縮退可否を判別し、下記にあてはまる条件下では CPU の障害時縮退機能を抑止します。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520A A1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H A1/B1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS540A A1/B1 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 24 Core 未満となる場合

[BS520H A2/B2 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H B3 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

[BS520H B4 サーバブレード]

・CPU の障害時縮退後に有効な論理コア数が 12 Core 未満となる場合

※BS520X B1 サーバブレード、BS520X B2 サーバブレードに関しては、ファームウェアによる縮退機能抑止は行っておりません。障害時縮退後に有効な論理コア数が 12Core/Blade 未満となる前に保守交換を行ってください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

2016 年 12 月(第 17 版)

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ CPU の使用温度制限

以下の CPU を搭載したサーバブレードにおいては、入気温度 30℃以下の環境で使用することが必須となります。  
30℃以上の環境で使用した場合、CPU の安定動作・寿命に影響を与える可能性があります。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520H A2/B2 サーバブレード]

・E5-2637v2 プロセッサを搭載した構成

以下の CPU を搭載したサーバブレードにおいては、入気温度 35℃以下の環境で使用することが必須となります。  
35℃以上の環境で使用した場合、CPU の安定動作・寿命に影響を与える可能性があります。

[対象 OS]

・全 OS

[対象サーバブレード]

[BS520H B3 サーバブレード]

・E5-2699v3 プロセッサを搭載した構成

・E5-2697v3 プロセッサを搭載した構成

・E5-2637v3 プロセッサを搭載した構成

[BS520H B4 サーバブレード]

・E5-2699v4 プロセッサを搭載した構成

・E5-2697v4 プロセッサを搭載した構成

・E5-2637v4 プロセッサを搭載した構成

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限

以下のサーバブレードにおいて、VMware vSphere® ESXi™をインストールする場合、下記に示す EFI の設定を変更する必要があります。変更を行わない場合、インストールに失敗する場合や、インストール後に VMware が起動できなくなる場合があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・ VMware vSphere® ESXi™ 5.1
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 5.5
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定 (BS520H B3 サーバブレードと NVIDIA PCIe GPU ボードの組み合わせの場合は、2.5GB に設定)
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 6.0
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定
- ・ VMware vSphere® ESXi™ 6.5
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Disable に設定
  - MM Config Base を 3GB に設定

#### [対象サーバブレード]

- ・BS520H B3 サーバブレード
- ・BS520H B4 サーバブレード
- ・BS520X B1 サーバブレード
- ・BS520X B2 サーバブレード

### ■ SMP 構成で VMware vSphere® ESXi™を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、VMware vSphere® ESXi™をご利用になる場合、EFI 設定の Processors の”C-States”を”Disable”に変更する必要があります。変更を行わない場合、CPU 障害が発生する場合があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定(Processors)の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5
- ・VMware vSphere® ESXi™ 6.0

#### [対象サーバブレード]

##### [BS520X B1 サーバブレード]

- ・2 ブレードもしくは 4 ブレードで SMP を構成

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ SMP 構成の VMware vSphere® ESXi™にて iSCSI 接続を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、VMware vSphere® ESXi™をご利用になる場合、EFI 設定の SAS を”Disable”に変更することにより、内蔵 RAID コントローラを無効化する必要があります。変更を行わない場合、ネットワークが見えなくなるなどの事象が発生する可能性があります。

EFI 設定の変更手順については、■EFI 設定(SAS)の変更手順を参照下さい。

#### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5

#### [対象サーバブレード]

- [BS520X B1 サーバブレード]
- [BS520X B2 サーバブレード]

下記の両方にあてはまる場合

- ・2 ブレードもしくは 4 ブレードで SMP を構成
- ・iSCSI 接続を使用

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 で 10Gb 2 ポートオンボード CNA、Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードまたは Emulex 8Gb/16Gb 2 ポート FC 拡張カードを使用する際の制限

以下のサーバブレードまたは拡張カードにおいて、Red Hat® Enterprise Linux® 7.1 をご利用になる場合、ファームウェア、ドライバをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。

[対象 OS]

- Red Hat® Enterprise Linux® 7.1

[対象サーバブレード・対象拡張カード]

[BS520H B2 サーバブレード 10Gb 2 ポートオンボード CNA]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346515.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カード (GG-CN3MXG2N3) (GG-CN3MXG2N3EX) (GG-CN3MXG2N4) (GG-CN3MXG2N4EX)]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346515.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 8Gb 2 ポート FC 拡張カード (GG-CC3M8G1N1) (GG-CC3M8G1N1EX)]

- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

[Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カード (GG-CC3M161N1) (GG-CC3M161N1EX)]

- 以下のファームウェアバージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。
  - ファームウェアバージョン: 10.6.144.21 以降
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346519.html>
- 以下のダウンロードページからドライバ、OneCommand Manager をダウンロードしてご使用ください。
  - <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12346516.html>

補足:

適用するファームウェアバージョンは、

『Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編—ドライババージョン一覧』をご参照ください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ VMware vSphere® ESXi™にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA / LAN 拡張カードを使用する際の制限

10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用し、VMware 環境上でゲスト OS を Windows でご使用になる場合は、以下の手順を参照頂き、最新の VMware Tools を適用して下さい。VMware Tools の入手方法とインストール手順については、以下をご参照下さい。

### [対象 OS]

- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.1
- ・VMware vSphere® ESXi™ 5.5
- ・VMware vSphere® ESXi™ 6.0

### [VMware tool 入手手順]

次の URL から入手できる、最新の VMware Tools を適用してください。

VMware 社 — VMware Operating System Specific Packages (OSPs)

URL: <https://www.vmware.com/support/packages>

### [VMware tool インストール手順]

適用方法については次の VMware 社公開情報を参照してください。

VMware 社 — VMware Tools の全般的なインストール手順 (2053219)

URL: <http://kb.vmware.com/kb/2053219>

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

■ Microsoft® Windows Server® 2012/2012 R2 にて 10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードを使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、LANドライバの VMQ(Virtual Machine Queues)設定を Disable に変更するか、LANドライバを 10.2.478.1 以降へアップデートする必要があります。変更を行わないまたはドライバをアップデートしない場合、OS の起動に失敗する場合があります。

### [対象 OS]

- ・Microsoft® Windows Server® 2012
- ・Microsoft® Windows Server® 2012 R2

### [対象デバイス・対象拡張カード]

- ・10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カード

### [対象ドライババージョン]

- ・LANドライババージョン: 10.2.478.1 以前

### [対象環境]

- ・Hyper-V 環境

・LANドライバをアップデートする場合は、以下の LANドライババージョンをダウンロードページからダウンロードしてご使用ください。

- LANドライババージョン: 10.2.478.1 以降
- <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/index.html>

### 補足:

ドライバ設定の変更およびドライバのアップデートについては、  
『Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編』をご参照ください。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。



# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ HVM を使用する際の制限

以下のサーバブレードにおいて、HVM をご使用になる場合は、下記に示す EFI の設定を変更する必要があります。変更を行わない場合、HVM が起動できなくなる場合があります。

EFI 設定の変更手順については、**■EFI 設定の変更手順**を参照下さい。

[対象サーバブレード]

[BS520H B3 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520H B4 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520X B1 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 2GB に設定 (デフォルト設定値)

[BS520X B2 サーバブレード]

- 全ての HVM version
  - PCI 64-bit Resource Allocation を Enable に設定 (デフォルト設定値)
  - MM Config Base を 3GB に設定 (デフォルト設定値)

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■Microsoft® Windows Server® 2016 を使用する際の制限

以下の条件にあてはまる場合、OS インストール時に Outbox ドライバを適用する必要があります。適用しない場合、インストールに失敗する場合があります。Outbox ドライバ適用手順は、OS セットアップガイド for Windows Server を参照してください。

#### [対象 OS]

- Microsoft® Windows Server® 2016

#### [対象サーバブレード]

- BS520H B3 サーバブレード
- BS520H B4 サーバブレード
- BS520X B2 サーバブレード

Broadcom 1Gb 4 ポート LAN 拡張カードまたは Broadcom 1Gb 8 ポート LAN 拡張カードを搭載

以下の条件にあてはまる場合、最大搭載メモリを 512GB 以下にしてください。512GB より大きい容量を搭載すると完全メモリダンプが終了しない場合があります。

#### [対象 OS]

- Microsoft® Windows Server® 2016 Hyper-V

#### [対象サーバブレード]

- BS520H B3 サーバブレード
- BS520H B4 サーバブレード
- BS520X B2 サーバブレード

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

### ■10Gb 2/4 ポートオンボード CNA または Emulex 10Gb 4 ポート CNA/LAN 拡張カードのファームウェアの制限

ファームウェアバージョン 11.1.215.0 は、以下の OS および機能は未サポートです。使用する場合は、Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編を参照しファームウェアのダウングレードをしてください。

#### [対象 OS および機能]

- Red Hat® Enterprise Linux® 6.5
- SR-IOV
- iSCSI
- HVM

### ■Emulex 16Gb 2 ポート FC 拡張カードのファームウェアの制限

ファームウェアバージョン 11.1.215.0 は、以下の OS は未サポートです。使用する場合は、Emulex 製アダプタ ユーザーズガイド ドライバ編を参照しファームウェアのダウングレードをしてください。

#### [対象 OS]

- Red Hat® Enterprise Linux® 6.5

### ■Broadcom 1Gb 4 ポート/8 ポート LAN 拡張カードの制限

以下の条件にあてはまる場合、OS 稼働中にドライバの警告メッセージが表示される場合があります。

```
WARNING: ntg3: Ntg3Attach:776: 0000:xx:xx.x:Failed to initialize hardware (195887105)
```

下記メッセージが“/var/log/vmkernel.log”に存在する場合は、上記警告メッセージは無視してください。

```
Mod: 4968: Initialization of tg3 succeeded with module ID 4129. tg3 loaded successfully.
```

#### [対象 OS]

- VMware vSphere® ESXi™ 6.5

#### [対象サーバブレード]

- BS520H B3 サーバブレード
- BS520H B4 サーバブレード
- BS520X B2 サーバブレード

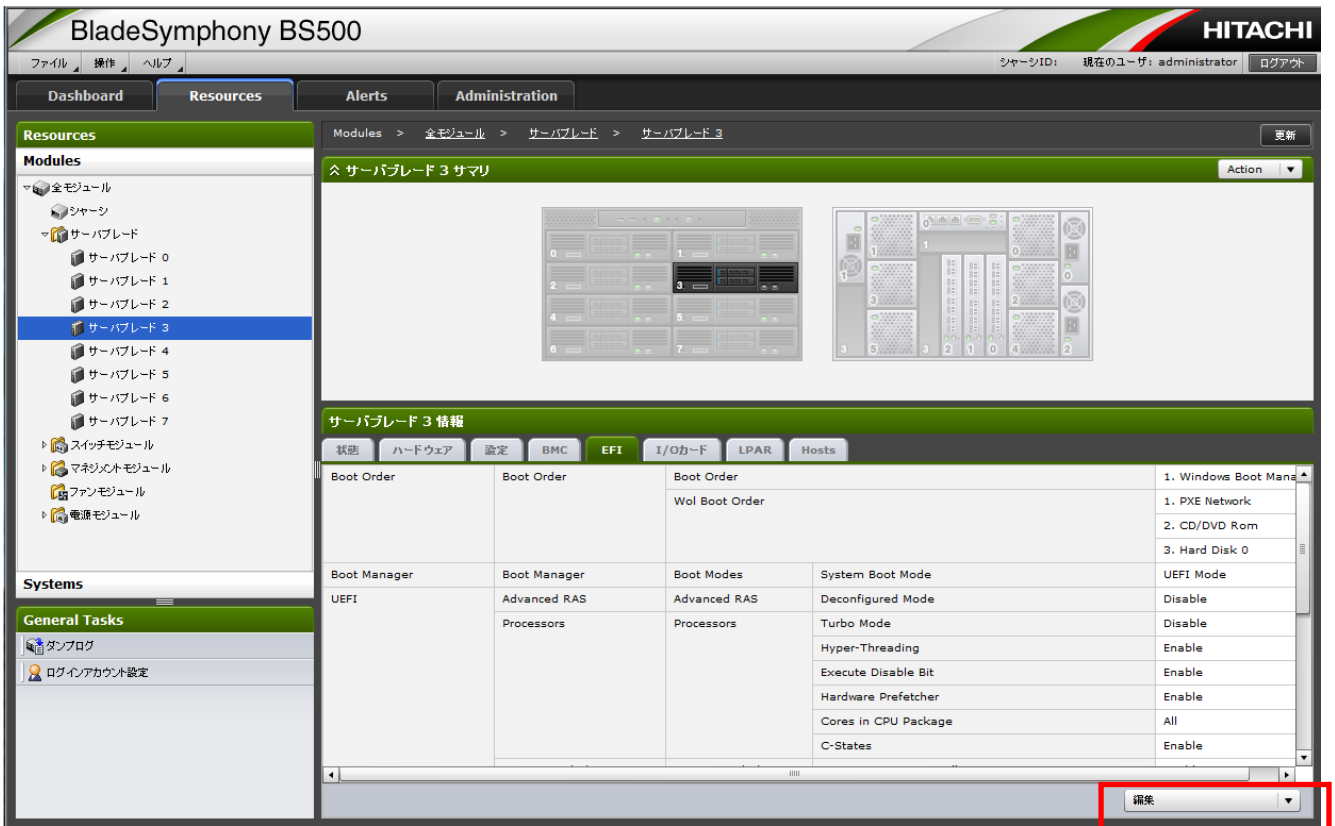
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★★必ずお読みください★★★★

### ■ EFI 設定の変更手順

1. Web コンソールの画面で、Resources->Modules->対象のサーバブレード->「サーバブレード情報の」の「EFI」タブをクリックし、「編集」をクリックします。SMP 構成をご利用の場合は、対象のサーバブレード選択時に「プライマリ」側を選択してください。



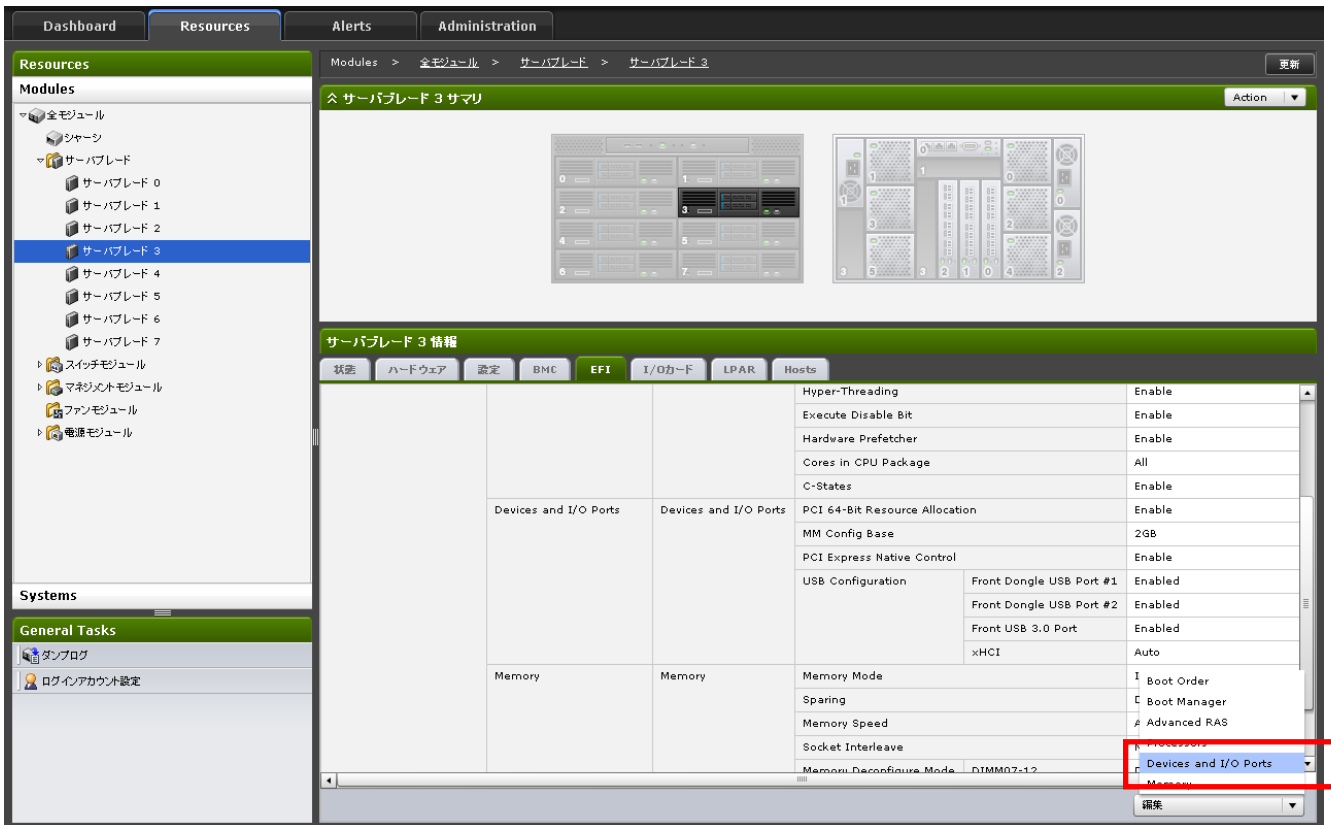
SMP 構成時の表示例

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

## 2. Device & I/O Ports をクリックします

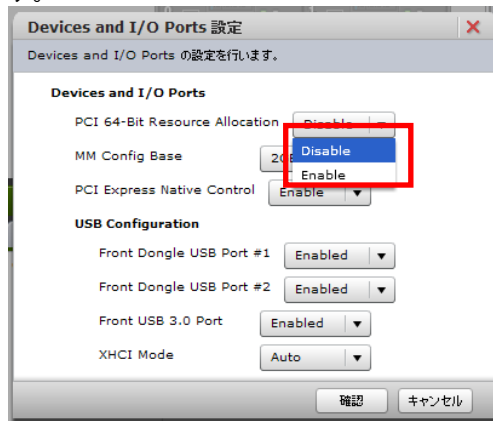


## 3. Device & I/O Ports 設定のダイアログが表示されるので、内容に応じてそれぞれのプルダウンメニューを選択し「確認」をクリックします。

### (1) PCI 64-bit Resource Allocation の変更の場合

VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限では、「PCI 64-bit Resource Allocation」のプルダウンメニューから「Disabled」を選択します。

HVMを使用する際の制限では、「PCI 64-bit Resource Allocation」のプルダウンメニューから「Enabled」を選択します。



その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

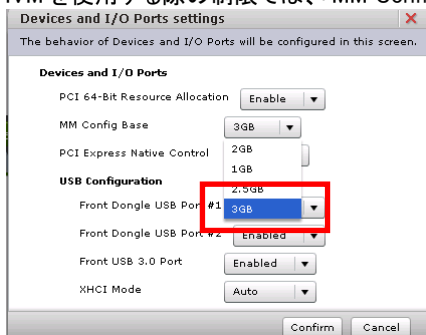
# 重要

## ★★★★必ずお読みください★★★★

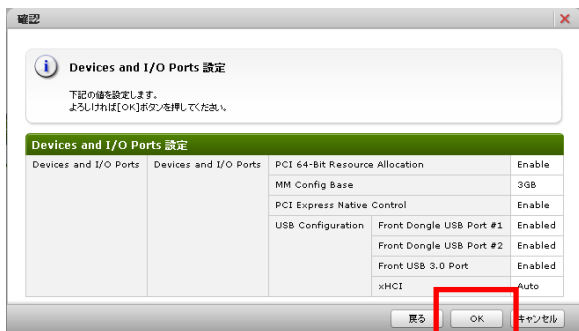
### (2) MM Config Base の変更の場合

VMware vSphere® ESXi™インストール時の制限では、「MM Config Base」のプルダウンメニューから「3GB」あるいは「2.5GB」を選択します。

HVMを使用する際の制限では、「MM Config Base」のプルダウンメニューから「2GB」を選択します。



### (3) 「確認」のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



### 4. EFI 設定のダイアログが表示されるので、設定が終わるまでしばらくお待ち下さい。



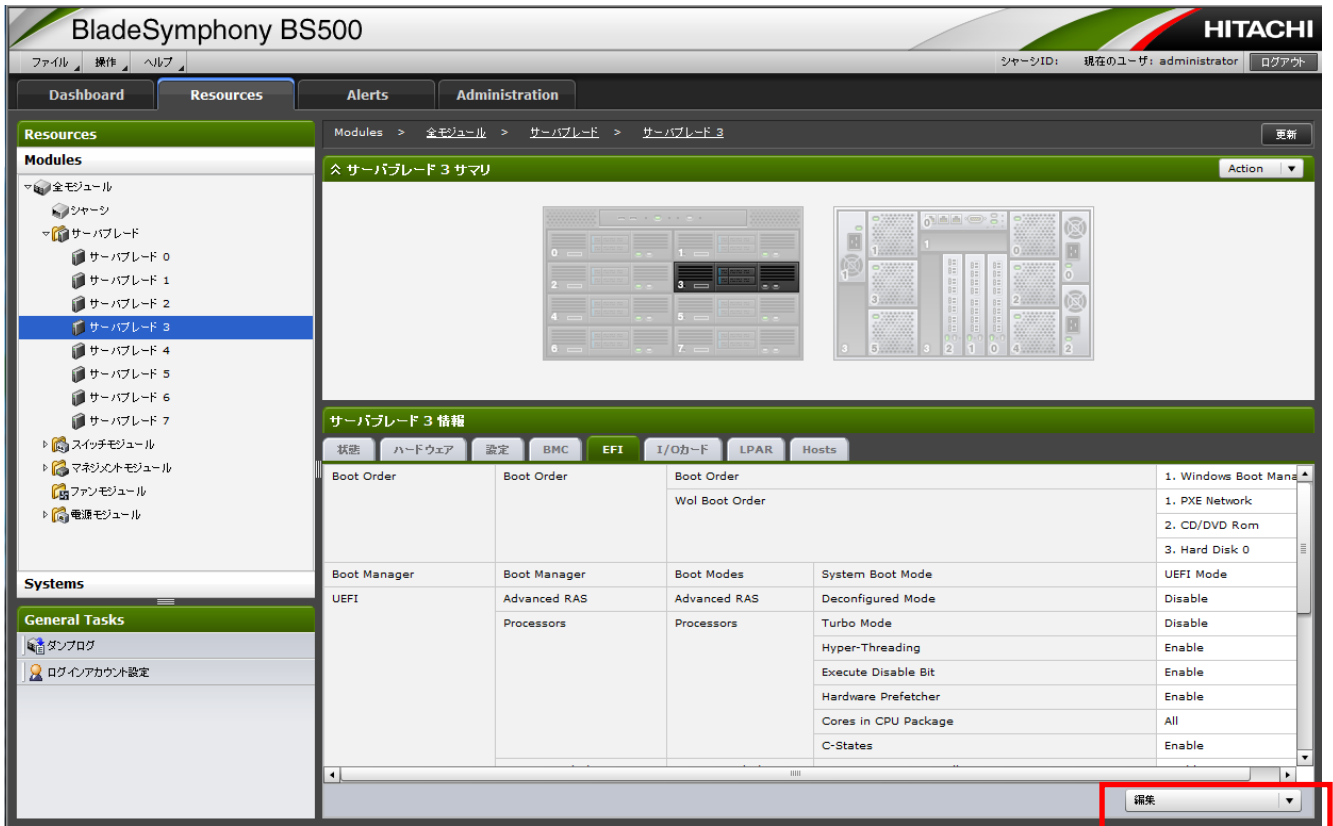
その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

## ★★★★必ずお読みください★★★★

### ■ EFI 設定(Processors)の変更手順

1. Web コンソールの画面で、Resources->Modules->対象のサーバブレード->「サーバブレード情報」の「EFI」タブをクリックし、「編集」をクリックします。SMP 構成をご利用の場合は、対象のサーバブレード選択時に「プライマリ」側を選択してください。



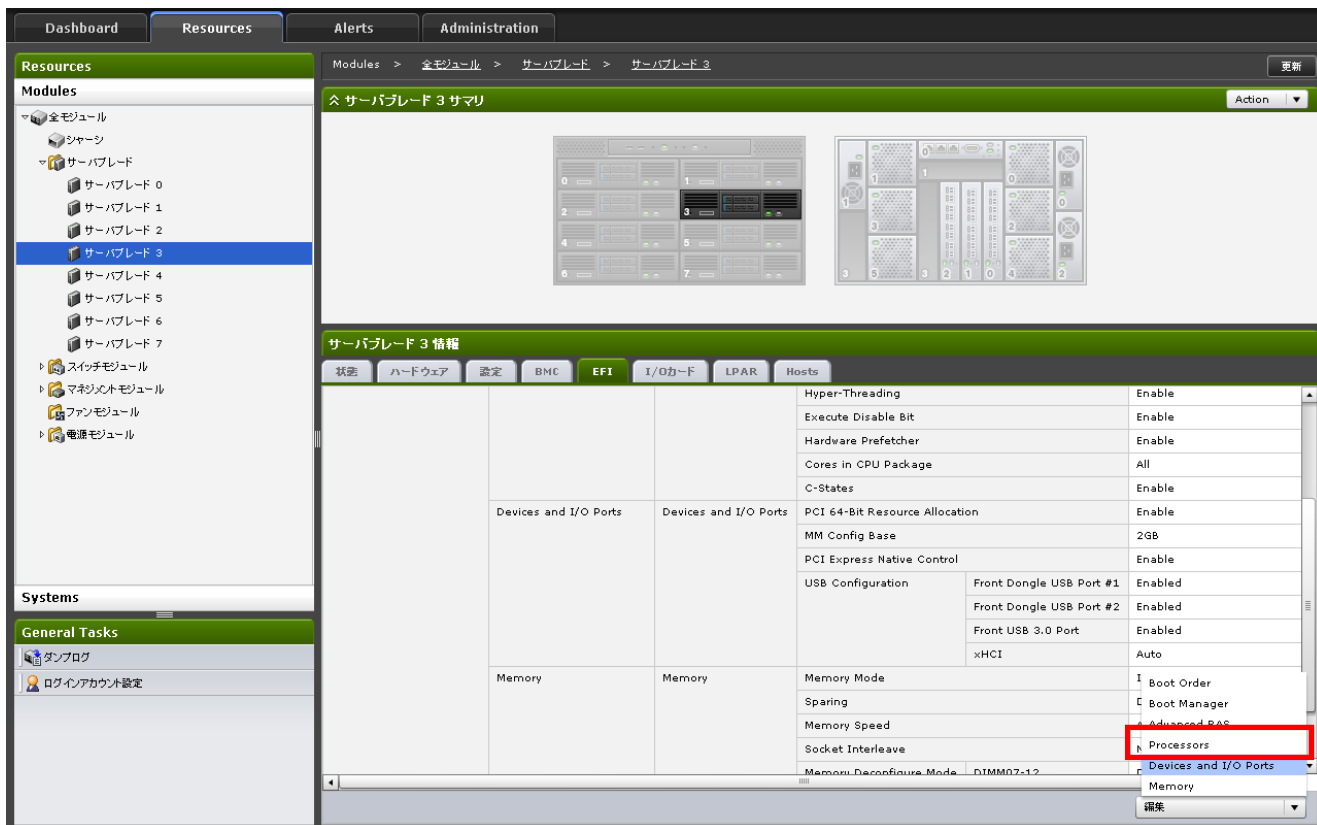
SMP 構成時の表示例

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

# 重要

★★★必ずお読みください★★★

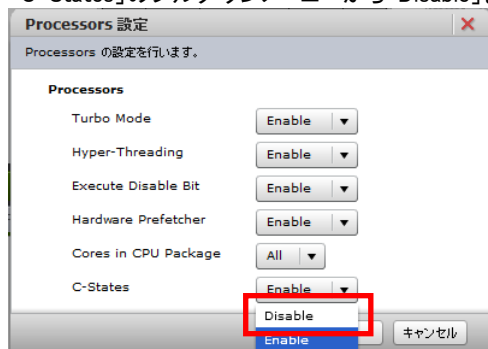
## 2. Processors をクリックします



## 3. Processors 設定のダイアログが表示されるので、内容に応じてそれぞれのプルダウンメニューを選択し「確認」をクリックします。

### (1) C-States の変更の場合

「C-States」のプルダウンメニューから「Disable」を選択します。



その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。



# 重要

★★★必ずお読みください★★★

4. 「確認」のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



5. EFI 設定のダイアログが表示されるので、設定が終わるまでしばらくお待ち下さい。



その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

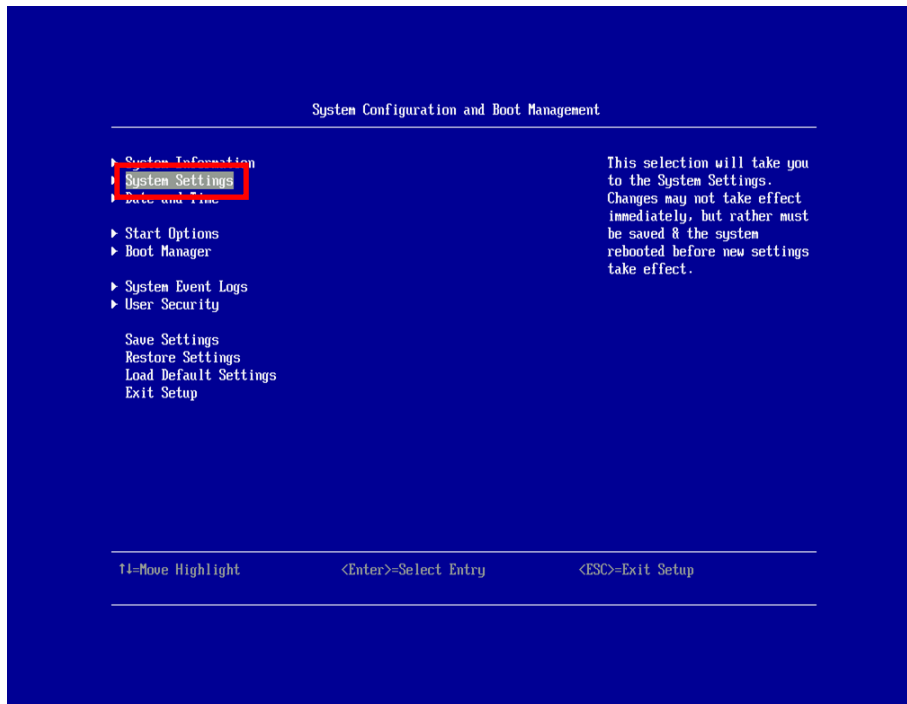
2016年12月(第17版)

# 重要

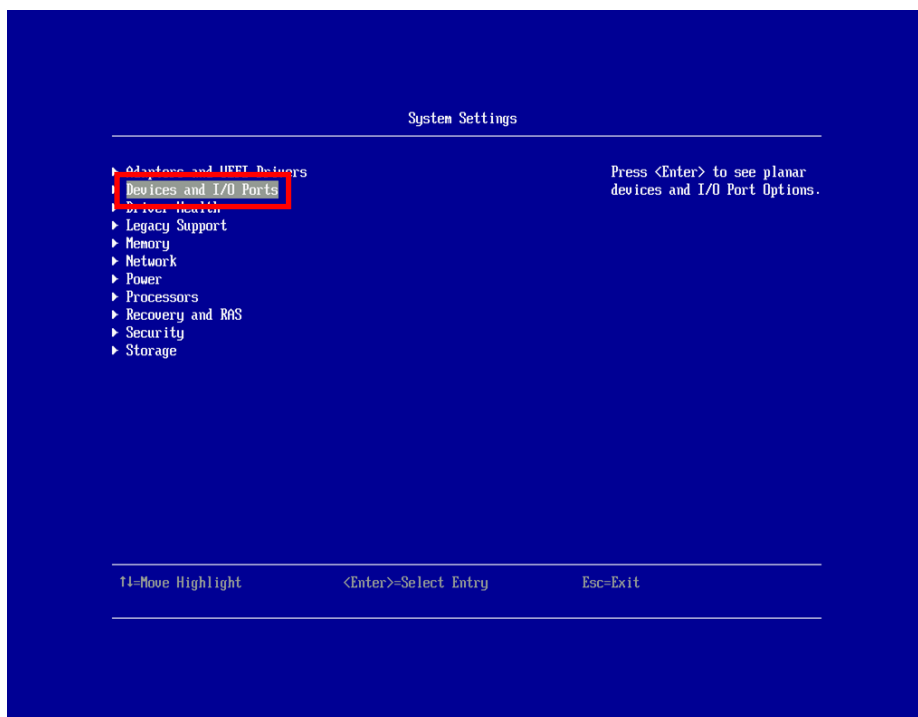
## ★★★必ずお読みください★★★

### ■ EFI 設定(SAS)の変更手順

1. EFI の「System Configuration and Boot Management」の画面で、「System Settings」を選択し Enter キーを押します。



2. 「System Settings」の画面で、「Devices and I/O Ports」を選択し Enter キーを押します。

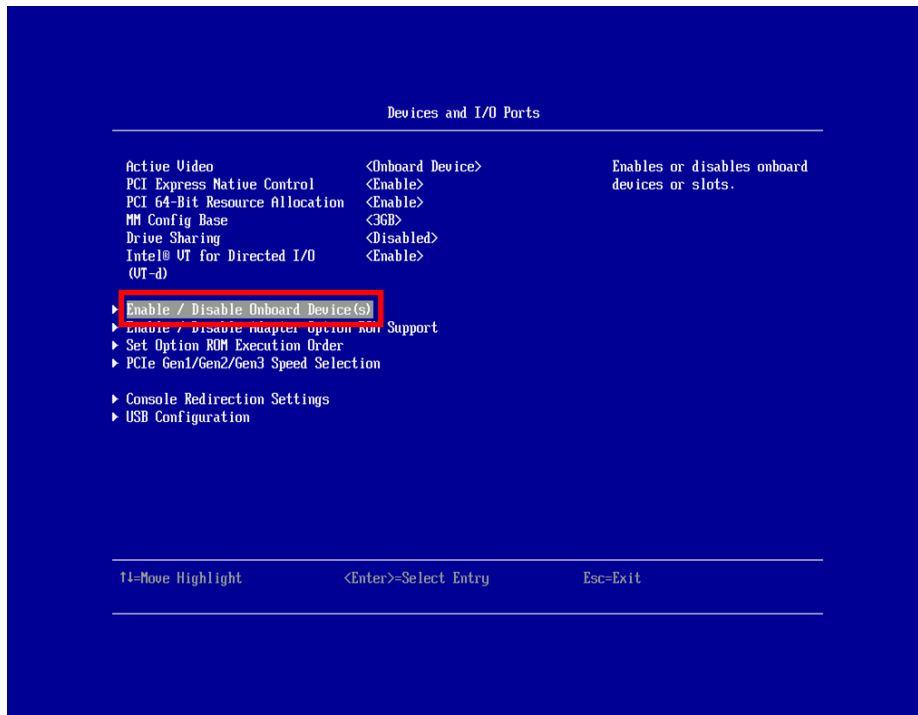


その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

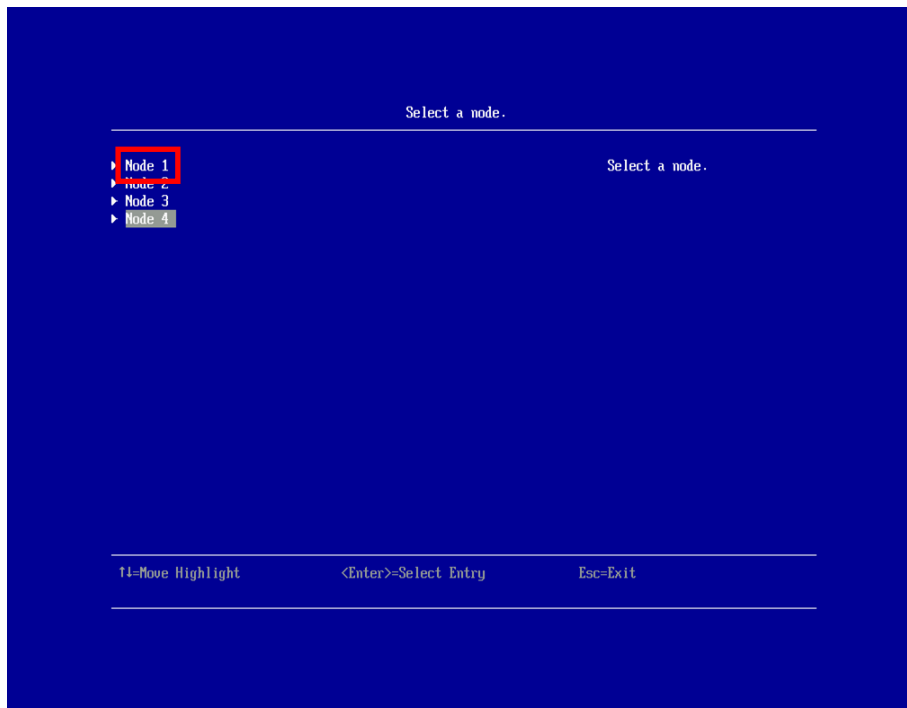
# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

3. 「Devices and I/O Ports」の画面で、「Enable / Disable Onboard Device(s)」を選択し Enter キーを押します。



4. 「Select a node.」の画面で、設定変更を行う Node 番号を選択し Enter キーを押します。

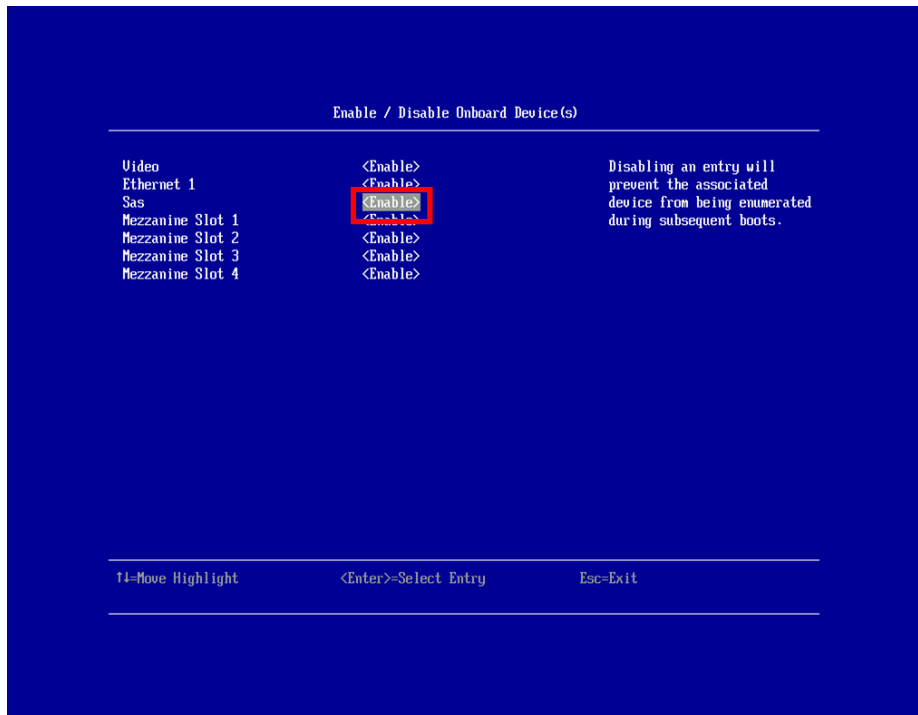


その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。

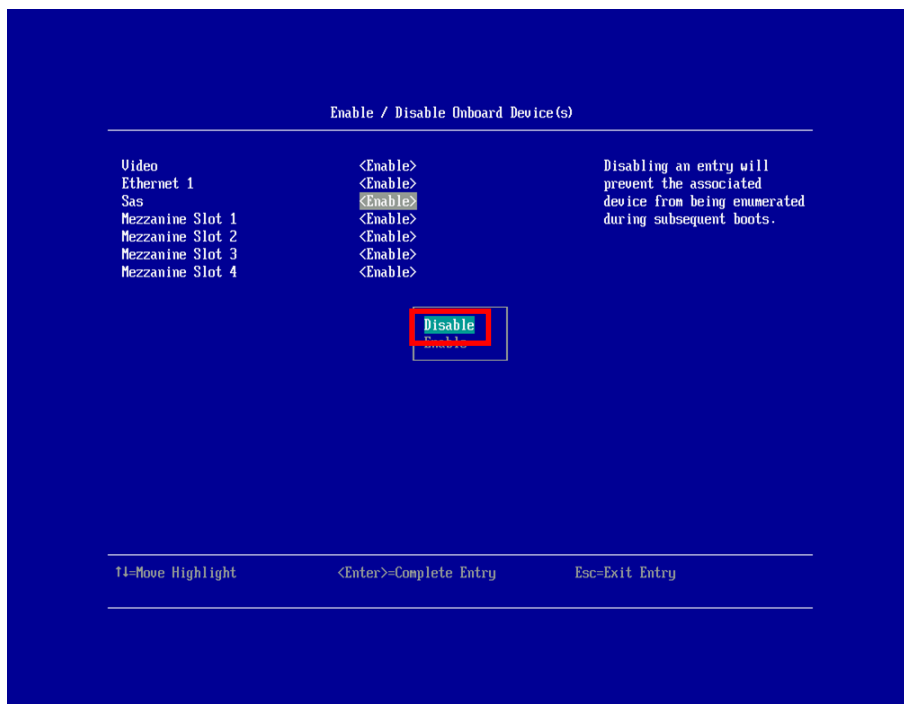
# 重要

## ★★★必ずお読みください★★★

5. 「Enable / Disable Onboard Device(s)」の画面で、「Sas」を選択し Enter キーを押します。



6. 「Disable」を選択し Enter キーを押します。



7. ESC キーを押して「Select a node.」の画面に戻り、残りの全ての Node に対して 4.~6.の操作を行い、「Sas」を「Disable」に変更します。
8. ESC キーを数回押して「System Configuration and Boot Management」の画面に戻り、「Save Settings」を選択し Enter キーを押して、変更を保存します。

その他添付されているマニュアルについても必ずお読みください。